

---

○議長（稲葉昭宏君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午後 2時00分）

---

◎議案第73号の上程、説明、質疑、採決

○議長（稲葉昭宏君） 日程第8、議案第73号 公の施設の指定管理者の指定について（伊豆まつぎ荘）を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（齋藤文彦君） 議案第73号は、公の施設の指定管理者の指定について（伊豆まつぎ荘）であります。

詳細は担当課長をして説明します。

（企画観光課長 山本 公君 提案理由説明）

○議長（稲葉昭宏君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

○1番（伴 高志君） このまつぎ荘の指定管理については、8月の勉強会でもやりましたし、その時に具体的に指定管理にした方が・・・、その指定管理の方法も民間委託ということもありましたし、それから直営はどうかということもありましたし、それぞれのメリット、デメリットもすごく丁寧に作成していただいた・・・、資料を勉強してきました、やっぱりまつぎ荘も・・・、やっぱり・・・、特に去年から今年にかけてとか、非常に重点的に宿泊者数、入浴者数とか、やっぱり改善に向けての努力を行っていると思ひまして。私もまつぎ荘にいろいろ縁がある部分もあるので・・・、やっぱり現場に・・・やっぱり顔を出して、状況はどうなっているかとか、そういうことを聞きながら、やっぱり距離を置いた形でやっぱり振興公社と町は別物ですよというふうになっちゃうのもすごく冷たい感じがしますし、やっぱり町営のまつぎ荘が、この松崎町全体の観光をよくしていくという・・・、そういうことが一番目標としては理想的なわけですから、そういうところに向かって協力していくことがこれからも大事なんじゃないかなというふうに考えています。

ですから、そういったところも含めて・・・、町の協力というのもおかしいですけども・・・、やっぱり町長は責任者ですから、やっぱり・・・、まつぎ荘の・・・、こういう観光の厳しい時代ですから・・・、時々・・・、いろんな方がいろんな形で関わっていますけれど・・・、夏が過ぎ

たら、観光が終わってしまって、それでもう顔を出さないんじゃないかと、そういうふうにしていかにくちやなと思いますけれども、はい、・・・、そういうところも含めて、まつぎき荘との関わり方というか・・・。

○議長（稲葉昭宏君） 伴君、質問の要旨を簡単に明確に言わないと、当局側も困りますから、もう少し簡潔に言ってもらいたいですね。

○1番（伴 高志君） 町長、お願いします。

○町長（齋藤文彦君） 何を答えていいかわからないわけですがけれども、私は本当に理事長として、本当に6期連続の赤字が続いて、どうしようかと思っていたわけでございます。

それで、やっぱりまつぎき荘を見ると、本当にやっぱり・・・、まつぎき荘を見ると、引っ張っていく中心的な人がいなかったというようなこともありますし、また、いろいろ外的要因も東日本大震災等があって、外的要因も非常に多いと思うわけですがけれども、やっぱり松崎の町民にかわいがられる施設になれとずっと言っていたわけですがけれども、本当に松崎の町民から文句が出てくるような本当に町民にかわいがられる施設ではなかったと思っています。

それにまたまつぎき荘の各種プランの企画や営業活動が弱かったと、いろんな問題があったわけですがけれども、いろいろ考えて、本当に・・・、白井さんに中に入ってもらって、本当にこれまでやってもらったわけですがけれども、この3年の最後にはぜひ黒字にしたいなと一生懸命やっているわけでございます。

支配人も副支配人も振興公社の鈴木君もいろいろ3人で集まって、まつぎき荘をより良くしようじゃといろいろ話し合っ、私のところにもいろいろ言ってくるわけですがけれども、非常にいい形ができてきたなと思っていますので、ぜひこれを続けてやっていきたいなと私は思っているところでございます。

○議長（稲葉昭宏君） ほかに質疑はありませんか。

○3番（長嶋精一君） 前の勉強会の時に確か僕は質問したんですがけれども。河津町がバガテル公園を・・・、長年赤字だったんですがけれども、それを直営にしたという、この状況を・・・、一番新しい状況を教えてもらいたいと言ったんですがけれども、それを教えてください。赤字になっているのか、それが縮小しているのか、現状を。

○企画観光課長（山本 公君） 河津町のバガテル公園の状況です。27年度の河津バガテル公園関係ということで決算をいただいておりますけれども、歳出の関係が8184万260円で、歳入の関係が、一般会計の充当が3000万円位ありまして、同じ金額になっていますので、それがなければ、3000万円位のマイナスであるということです。

ですから、収入でいきますと、バガテルの入園料が2400万円ほど、それからショップとかカフェとか販売収入で2700～2800万円ほどということで、合せると5000万円位ですね、収入が。費用が、先ほどの分8100万円がありますので、その分が一般会計の方から財源充当されているということになります。

それで従業員の関係は、平成26年が40人位いたものが、今は19人ということで、20人ほどマイナスになっております。繁忙期はまたパートとか臨時さんというものを頼むということのようですけども、人間的にも少なくなっていると。指定管理の廃止あるいは業務縮小により空き建物が増えたり、その後の対応など職員の負担もかなりかかっているというお話でございました。

いま人員の関係あるいは決算の関係につきまして、バガテルの状況をご説明させていただきました。

○3番（長嶋精一君） それは、直営にした後と直営にする前と・・・、どういうふうに・・・、直営の前はどうだったんですか。

要するに、少しは好転しているのか、全然変わっていないのか、悪くなっているのか。

○企画観光課長（山本 公君） 売上の関係ですと26年度が1億円位の売上です。先ほど27年度は5000万円と言いましたけれども・・・。ですから、5000万円位マイナスになっております。

（長嶋議員「最終的な決算は」「利益は・・・」と呼ぶ）

○企画観光課長（山本 公君） 利益は、バガテル分で土地の賃貸借・・・、土地の借上料ですとか、町が出している部分だけでも4600万円位一般財源の方から投入しています。収入として入ってきているのが土地の部分で、雇用賃・賃借料とかなんかを払ったりして、町が払っていた分についてもマイナスになっているということになりますので・・・。

町営にする前の状況ということですよ、議員さんが言われているのは。

いただいた資料の中ではその程度しかお答えできないですけども、いずれにしても一般財源の方から充当しているというような状況でございます。

○3番（長嶋精一君） 私は、河津町が直営にした理由があると思うんだよね。今までこうだったから、こういうふうになると、その理由を・・・、どうして直営にしたのか、それでその効果はどうだったのか、財務諸表だけでなく、担当あるいは課長クラスの人から聞いて欲しかったんですよ。今さら聞けませんから・・・。私の趣旨はそうだったんです。それで判断を・・・、判断を私はしているんだけど、それで、議員さんにもそういうことを知らしめて欲しかったということです。以上です。

○8番（土屋清武君） 動議。この議案第73号 公の施設指定管理者の関係につきましては、事前に勉強会等を行って、よく内容はわかっているものと思います。

また、本年度の実績等営業状況を今議会の初日に行いましたけれども、内容についてもだいぶ以前とは違って、よくなってきているという状況でありますので、質疑、討論は省略し、採決を行っていただきたいと思います。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（稲葉昭宏君） ただいま8番議員から、質疑を終結し、討論を省略されたいとの動議がなされました。所定の賛同者がありますので、動議は成立いたしました。

本動議のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議あり」と呼ぶ者あり）

○議長（稲葉昭宏君） 異議がありますので、挙手により採決を行います。

質疑を終結し、討論を省略することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手多数）

○議長（稲葉昭宏君） 挙手多数であります。

よって、質疑を終結し、討論を省略することに決しました。

もう一度確認をいたします。質疑を終結し、討論を省略することの採決をとりました。それが決まりましたので、そのまま採決に入ります。

よろしいですか。

これより議案第73号 公の施設の指定管理者の指定について（伊豆まつぎ荘）を挙手により採決します。

本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

（挙手多数）

○議長（稲葉昭宏君） 挙手多数であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

暫時休憩します。

（午後 2時20分）

---